

飯山市立岡山小学校適正規模等
検討委員会設立会議次第

日時：平成26年12月16日
午後7時から
場所：岡山地区活性化センター

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

(1) 検討委員会設置要領（案）について

(2) 委員名簿（案）について

(3) 委員長・副委員長の選出

(4) 検討内容の依頼

4. 議事（委員長進行）

(1) 現状と課題、検討スケジュール（案）について

(2) その他

5. そ の 他

次回日程 平成 年 月 日（ ）
時間 : ~
場所

6. 閉 会

飯山市立岡山小学校適正規模等検討委員会設置要領（案）

（目的及び設置）

第1条 岡山小学校の教育環境の向上及び充実した学校教育の実現に資するため、岡山小学校適正規模等検討委員会(以下「検討委員会」という。)を置く。

（任務）

第2条 検討委員会は、飯山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の依頼に応じ、次の事項について検討し、報告する。

- (1) 岡山小学校の適正規模に関すること。
- (2) 岡山小学校の適正配置に関すること。
- (3) 前2号に定めるもののほか、教育委員会が必要と認める事項に関すること。

（委員）

第3条 検討委員会は、次に掲げる者で組織する。

- (1) 地域代表者
- (2) 岡山小学校・戸狩小学校保護者
- (3) 学識経験者
- (4) 学校関係者

（任期）

第4条 委員の任期は、第2条に定める事項の報告の日までとする。

（委員長及び副委員長）

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員の互選によって選出し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理し、検討委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 検討委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長が互選される前に招集する会議は、教育長が招集する。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（事務局）

第7条 検討委員会の事務局は、教育委員会事務局子ども課が担当する。

(補則)

第8条 この要領に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

岡山小学校適正規模等検討委員会委員名簿（案）

	役職	氏名	選出区分	所属等
1		広瀬公一	地域代表者	岡山地区区長協議会会長
2		松永 登	同上	同上 副会長
3		小田切宗美	同上	桑名川区長
4			同上	藤沢代表区長
5		斉藤康之	同上	藤沢第一区長
6		久保田幸雄	同上	藤沢第二区長
7		広瀬公一	同上	岡山小学校考える会会長
8		月岡靖隆	保護者	しらかば保育園会長
9		小田切 豊	同上	しらかば保育園副会長
10		小田切則明	同上	岡山小 PTA 会長
11		渡辺和英	同上	岡山小 PTA 副会長
12		小田切賀奈子	同上	岡山小 PTA 副会長
13		丸山 誉	同上	戸狩小 PTA 会長
14		小林治雄	学校関係者	岡山小校長
15		田中好一	同上	戸狩小校長
16		吉田正紀	学識経験者	岡山地区民生委員会会長
17		田中好一	同上	飯山市校長会長
18		村山芳広	地域代表者	太田地区区長協議会会長
19		大野峰太郎	同上	常盤地区区長協議会会長
20		鷲尾恒久	同上	瑞穂地区区長協議会会長

平成26年12月16日

飯山市立岡山小学校適正規模等検討委員会委員長 殿

飯山市教育委員会

飯山市立岡山小学校適正規模等検討委員会設置要領第2条の規定に基づき、次に掲げる事項について協議検討の上、意見を取りまとめ報告いただきたく、理由を添えて依頼いたします。

検討事項

飯山市立岡山小学校の適正規模等に関すること

(理由)

全国的に少子化が進む中であって、当市も例外でなく、児童数の減少に伴い、学校の小規模化が進行しています。全市的な視点に立ち、岡山小学校規模等について検討する時期がきております。

岡山小学校区の子供たちに、より良い教育環境の提供、学校規模や地域との関わり、学校経営、教育効果などを総合的に検討していただき、岡山小学校区の子供たちにとって望ましい教育環境の将来像を、ご検討賜りますようお願い申し上げます。

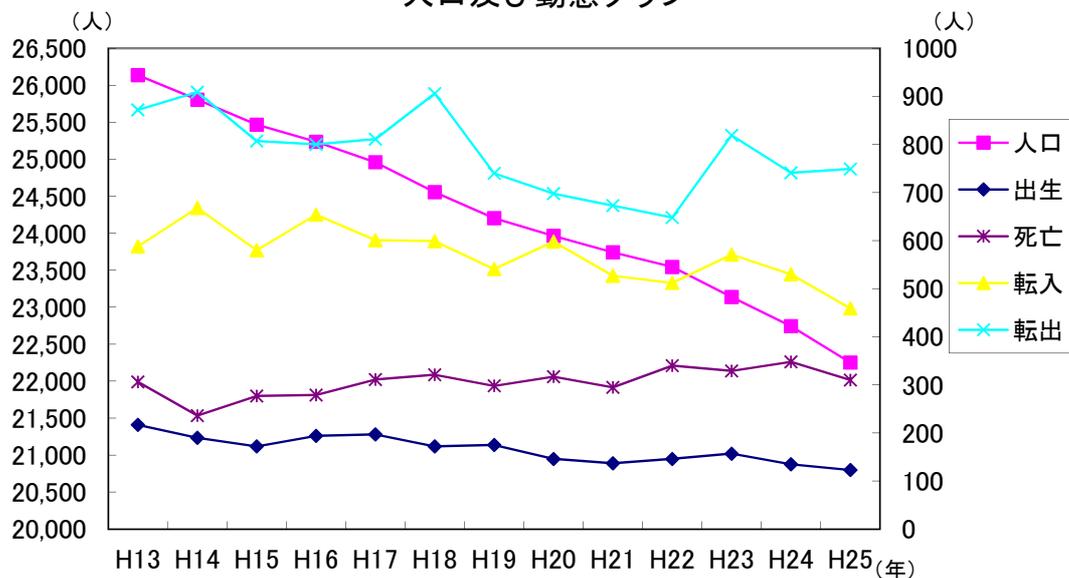
岡山小学校適正規模検討委員会 検討予定表（案）

	開催日	協議内容
第1回	平成26年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○設置要領の確認 ○委員長・副委員長の選出 ○協議検討の依頼 ○議事 <ul style="list-style-type: none"> 1、今までの経過 2、岡山小学校の現状と課題 3、検討の予定スケジュール ○自由な意見交換
第2回	平成27年1月 日	<ul style="list-style-type: none"> ○岡山小学校の適正規模等の基本的な考え方について ○報告書の内容等について
第3回	平成27年2月 日	○報告書(案)について
第4回	平成27年3月 日	<ul style="list-style-type: none"> ○報告 検討結果を報告

資料

人口動態

人口及び動態グラフ



年次	自然動態 (人)			社会動態 (人)		
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減
昭和40年	513	337	176	1,231	1,747	△ 516
45	428	313	115	890	1,441	△ 551
50	404	278	126	856	1,126	△ 270
55	380	274	106	861	1,088	△ 227
60	296	272	24	748	1,001	△ 253
61	316	260	56	771	968	△ 197
62	296	212	84	695	964	△ 269
63	276	253	23	747	926	△ 179
平成元年	272	272	0	657	836	△ 179
2	295	275	20	790	870	△ 80
3	262	311	△ 49	664	900	△ 236
4	272	300	△ 28	696	785	△ 89
5	250	276	△ 26	805	896	△ 91
6	256	298	△ 42	813	828	△ 15
7	258	307	△ 49	776	921	△ 145
8	239	277	△ 38	699	955	△ 256
9	240	298	△ 58	762	951	△ 189
10	250	276	△ 26	737	851	△ 114
11	245	336	△ 91	673	900	△ 227
12	201	301	△ 100	845	956	△ 111
13	217	306	△ 89	588	872	△ 284
14	190	236	△ 46	668	909	△ 241
15	172	277	△ 105	580	807	△ 227
16	194	279	△ 88	654	800	△ 146
17	197	311	△ 114	601	811	△ 210
18	172	321	△ 149	599	906	△ 307
19	175	298	△ 123	541	740	△ 199
20	146	317	△ 171	598	698	△ 100
21	137	295	△ 158	527	673	△ 146
22	146	340	△ 194	512	648	△ 136
23	157	329	△ 172	571	819	△ 248
24	123	310	△ 187	459	749	△ 290
25	135	348	△ 213	530	741	△ 211

資料: 毎月人口異動調査結果

小学校の状況

各年5月1日現在

年度 学校名	教員数 総数	編成式別学級数				児童数		
		総数	単式	複式	特別支援	総数	男	女
18	128	79	63	1	15	1,493	764	729
19	130	79	62	1	16	1,429	753	676
20	131	78	59	2	17	1,398	733	665
21	132	75	55	2	18	1,305	686	619
22	121	72	52	3	17	1,242	652	590
23	114	71	52	3	16	1,212	633	579
24	111	69	51	3	15	1,176	616	560
25	113	70	51	3	16	1,121	607	514
26	118	68	50	3	15	1,077	574	503
秋津小学校	14	9	6	—	3	136	70	66
飯山小学校	31	18	15	—	3	411	208	203
常盤小学校	13	8	6	—	2	95	47	48
岡山小学校	6	3	—	3	—	12	8	4
東小学校	11	6	5	—	1	50	27	23
木島小学校	15	9	6	—	3	126	71	55
戸狩小学校	16	8	6	—	2	155	89	66
泉台小学校	12	7	6	—	1	92	54	38

※平成20年度より、75条の学級は、特別支援学級に改正

資料：学校基本調査結果

小学校別児童数の推移

各年5月1日現在

	総数	秋津	飯山	泉台	常盤	岡山	東	木島	戸狩	羽広山
平成元年	2,241	168	710	270	205	53	165	272	398	—
2	2,199	160	674	250	216	56	160	289	394	—
3	2,154	164	659	226	221	46	151	295	387	5
4	2,090	154	629	214	225	49	155	289	371	4
5	2,093	145	640	201	230	50	146	303	374	4
6	2,029	142	613	190	228	51	146	303	354	2
7	1,987	152	615	187	211	47	139	298	338	—
8	1,889	150	572	191	205	45	126	285	315	—
9	1,826	148	574	192	196	39	111	275	291	—
10	1,794	155	572	188	180	34	106	277	282	—
11	1,717	165	544	192	171	37	98	244	266	—
12	1,674	172	537	187	161	34	94	238	251	—
13	1,672	160	551	183	161	38	93	239	247	—
14	1,631	160	565	170	153	39	81	222	241	—
15	1,601	152	549	166	148	39	89	218	240	—
16	1,566	140	552	164	143	44	79	203	241	—
17	1,521	133	544	147	141	39	84	193	240	—
18	1,493	126	550	153	136	34	87	174	233	—
19	1,429	139	514	147	137	32	80	159	221	—
20	1,398	140	501	142	127	28	85	158	217	—
21	1,305	141	464	130	119	25	77	148	201	—
22	1,242	147	448	115	122	18	77	135	180	—
23	1,212	140	445	118	115	14	69	130	181	—
24	1,176	145	425	103	114	14	68	129	178	—
25	1,121	141	407	96	99	13	65	134	166	—
26	1,077	136	411	92	95	12	50	126	155	—

資料：学校基本調査結果

中学校別学年別生徒数

平成26年5月1日現在

	総数			学級数			教員数
	計	男	女	計	単式	75条	
総数	643	326	317	26	21	5	48
城北	270	138	132	12	9	3	21
城南	373	188	185	14	12	2	27

資料:学校基本調査結果

※平成22年4月の飯山市内中学校統合により
第一中学校・第二中学校・第三中学校は廃止され
城南中学校・城北中学校となりました。

中学校別生徒数・学級別の推移

各年5月1日現在(単位:人)

	学級数 (75条)	総数	一中	二中	三中
			城南	城北	
平成元年	39 (5)	1,255	462	370	423
2	40 (5)	1,252	468	375	409
3	40 (5)	1,221	445	384	392
4	39 (5)	1,162	415	379	368
5	37 (5)	1,122	403	370	349
6	37 (5)	1,108	399	356	353
7	35 (4)	1,094	380	346	368
8	37 (4)	1,100	368	353	379
9	36 (4)	1,083	363	345	375
10	36 (4)	1,034	342	342	350
11	35 (4)	1,010	340	339	331
12	34 (5)	958	317	331	310
13	34 (6)	936	337	312	287
14	33 (7)	871	309	281	281
15	32 (7)	843	317	269	257
16	33 (8)	857	315	284	258
17	31 (7)	831	316	272	243
18	31 (7)	804	296	278	230
19	30 (6)	773	292	257	224
20	29 (6)	761	299	241	221
21	30 (7)	770	305	236	229
22	28 (7)	755	424		331
23	28 (7)	721	399		322
24	28 (7)	681	382		299
25	26 (5)	644	365		279
26	26 (5)	643	373		270

資料:学校基本調査結果

中学校学年別生徒数の推移

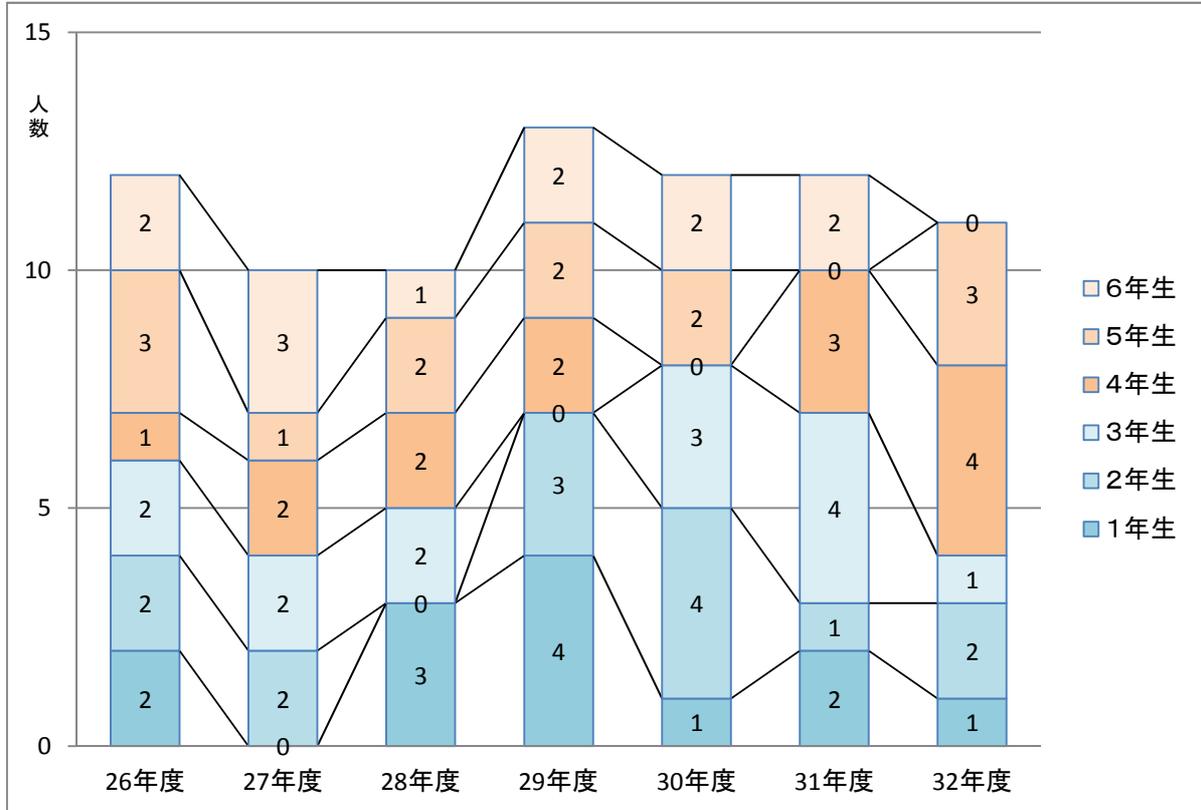
各年5月1日現在(単位:人)

	学級別	1学級当 生徒数	総数			1学 年			2学 年			3学 年			遠距離 通学者
			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
62	37	35.3	1,307	673	634	423	228	195	447	226	221	437	219	218	227
63	37	34.6	1,280	660	620	412	208	204	419	226	193	449	226	223	218
平成元年	39	32.2	1,255	650	605	423	215	208	411	206	205	421	229	192	213
2	40	31.3	1,252	635	617	410	208	202	425	216	209	417	211	206	215
3	40	30.5	1,221	633	588	379	203	176	411	209	202	431	221	210	209
4	39	29.8	1,162	603	559	373	192	181	379	202	177	410	209	201	196
5	37	30.3	1,122	588	534	368	192	176	374	194	180	380	202	178	181
6	37	29.9	1,108	576	532	368	191	177	366	192	174	374	193	181	161
7	35	31.3	1,094	566	528	359	184	175	366	189	177	369	193	176	152
8	37	29.7	1,100	577	523	379	207	172	357	182	175	364	188	176	148
9	36	30.1	1,083	558	525	347	169	178	377	206	171	359	183	176	152
10	36	28.7	1,034	522	512	308	147	161	349	169	180	377	206	171	170
11	35	28.9	1,010	490	520	354	173	181	306	147	159	350	170	180	152
12	34	28.2	958	480	478	298	158	140	355	174	181	305	148	157	-
13	34	27.5	936	466	470	280	133	147	300	158	142	356	175	181	-
14	33	26.4	871	434	437	292	143	149	276	132	144	303	159	144	-
15	32	26.3	843	416	427	275	140	135	294	145	149	274	131	143	-
16	33	26.0	857	429	428	287	144	143	275	140	135	295	145	150	-
17	31	26.8	831	413	418	264	126	138	289	145	144	278	142	136	-
18	31	25.9	804	406	398	251	135	116	264	126	138	289	145	144	-
19	30	25.8	773	375	398	257	113	144	251	135	116	265	127	138	-
20	29	26.2	761	381	380	255	132	123	255	113	142	251	136	115	-
21	30	25.7	770	378	392	258	132	126	256	132	124	256	114	142	-
22	28	27.0	755	397	358	242	135	107	257	131	126	256	131	125	-
23	28	25.8	721	387	334	221	118	103	244	137	107	256	132	124	-
24	28	24.3	681	361	320	220	108	112	219	117	102	242	136	106	-
25	26	24.8	644	332	312	203	108	95	222	108	114	219	116	103	-
26	26	24.7	643	326	317	219	111	108	201	106	95	223	109	114	-

資料:学校基本調査結果

平成26～32年度 学年別児童数の推計

【岡山小】



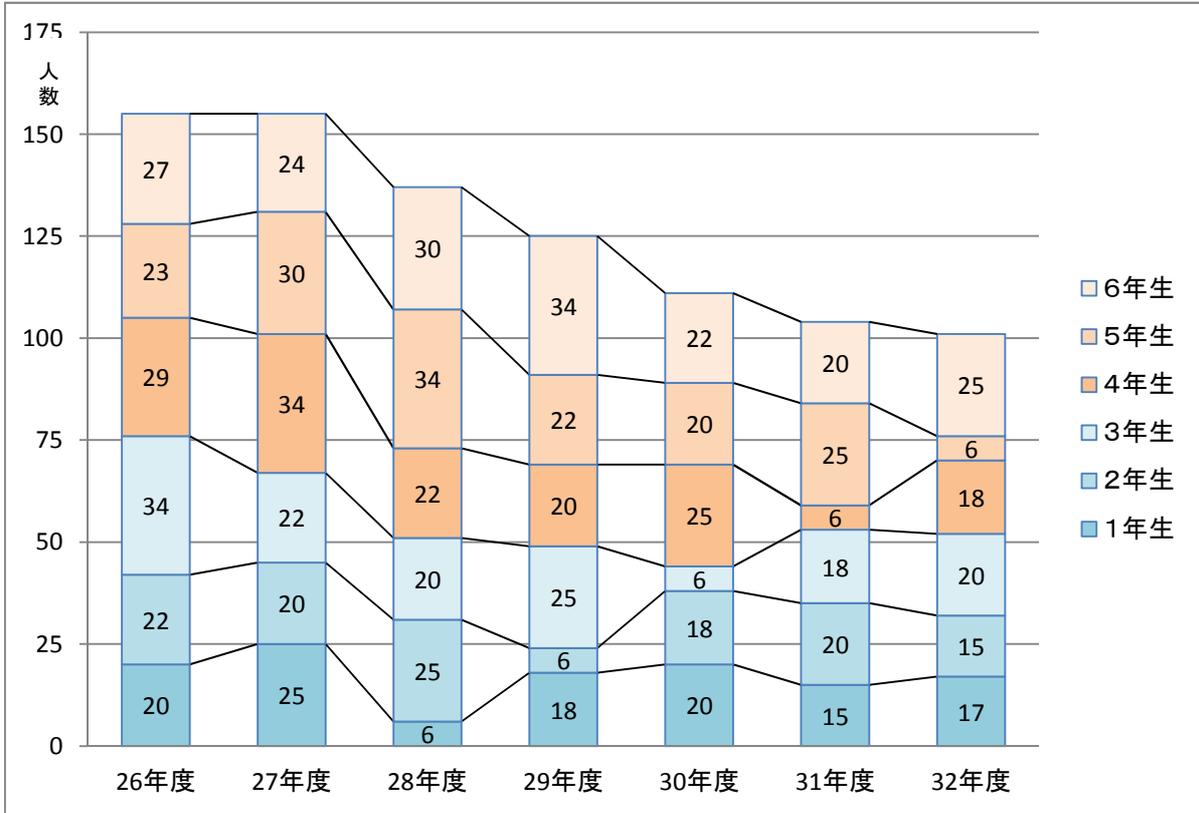
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
1年生	2	0	3	4	1	2	1
2年生	2	2	0	3	4	1	2
3年生	2	2	2	0	3	4	1
4年生	1	2	2	2	0	3	4
5年生	3	1	2	2	2	0	3
6年生	2	3	1	2	2	2	0
合計	12	10	10	13	12	12	11
前年対比		△ 17 %	0 %	30 %	△ 8 %	0 %	△ 8 %
26年対比		△ 17 %	△ 17 %	8 %	0 %	0 %	△ 8 %

※ 平成26年度は学校基本調査による数値（5月1日現在）

※ 平成27年度以降は平成26年5月1日現在の住民基本台帳により学齢人数を各学校ごとに集計した推計値。

平成26～32年度 学年別児童数の推計

【戸狩小】



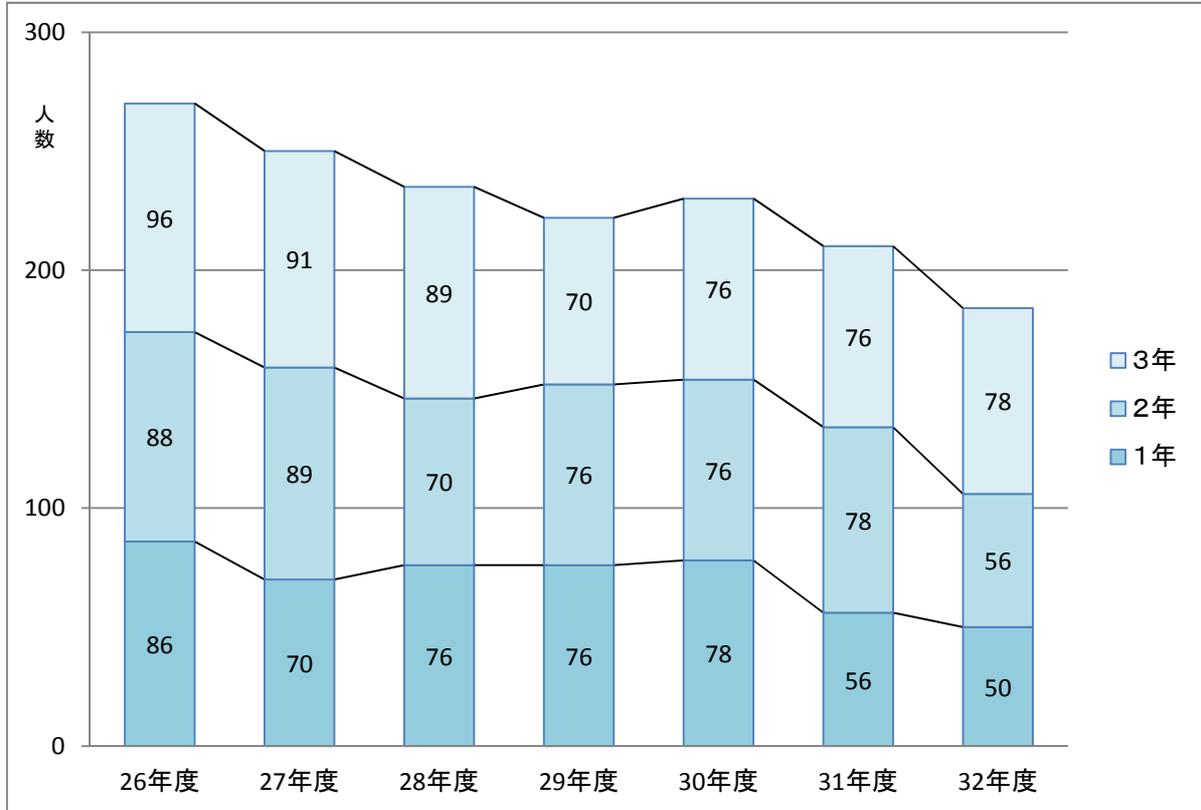
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
1年生	20	25	6	18	20	15	17
2年生	22	20	25	6	18	20	15
3年生	34	22	20	25	6	18	20
4年生	29	34	22	20	25	6	18
5年生	23	30	34	22	20	25	6
6年生	27	24	30	34	22	20	25
合計	155	155	137	125	111	104	101
前年対比		0%	△ 12%	△ 9%	△ 11%	△ 6%	△ 3%
26年対比		0%	△ 12%	△ 19%	△ 28%	△ 33%	△ 35%

※ 平成26年度は学校基本調査による数値（5月1日現在）

※ 平成27年度以降は平成26年5月1日現在の住民基本台帳により学齢人数を各学校ごとに集計した推計値。

平成26～32年度 学年別児童数の推計

【城北中】



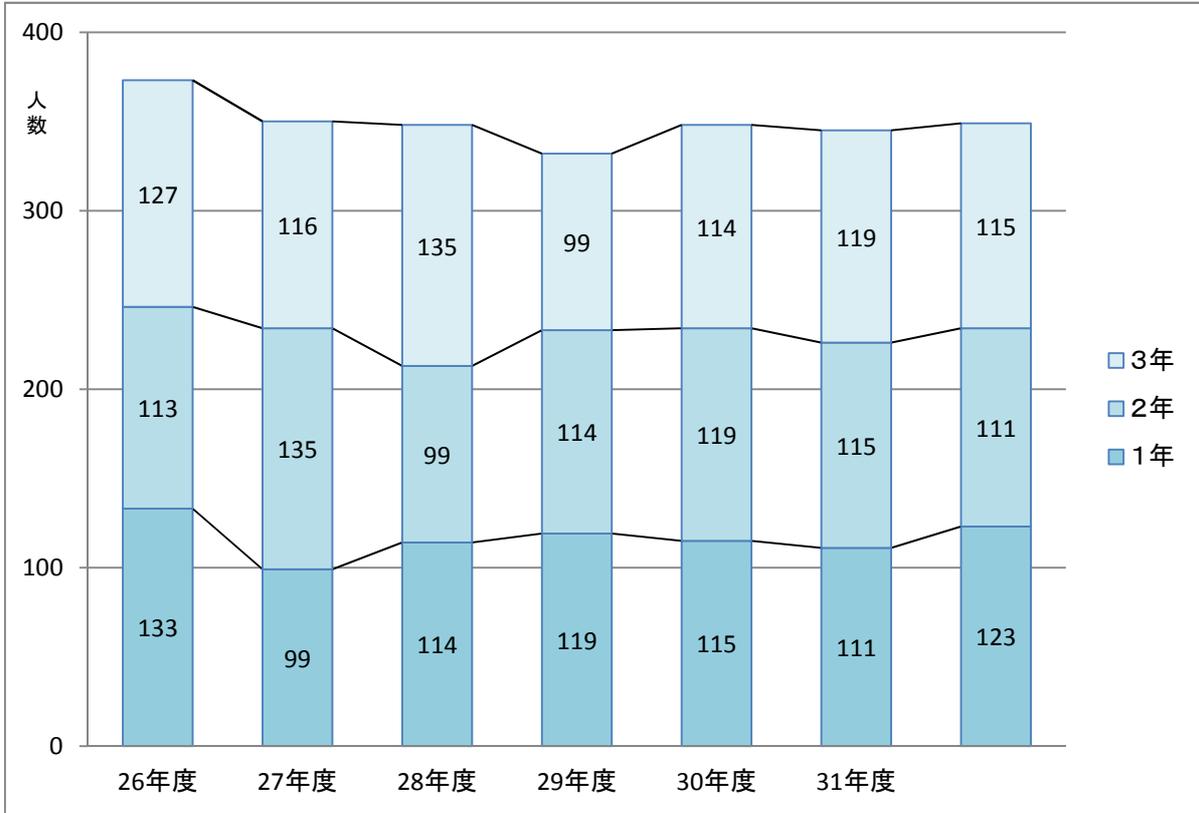
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
1年	86	70	76	76	78	56	50
2年	88	89	70	76	76	78	56
3年	96	91	89	70	76	76	78
合計	270	250	235	222	230	210	184
前年対比		△ 7 %	△ 6 %	△ 6 %	4 %	△ 9 %	△ 12 %
26年対比		△ 7 %	△ 13 %	△ 18 %	△ 15 %	△ 22 %	△ 32 %

※ 平成26年度は学校基本調査による数値（5月1日現在）

※ 平成27年度以降は平成26年5月1日現在の住民基本台帳により学齢人数を各学校ごとに集計した推計値。

平成26～32年度 学年別児童数の推計

【城南中】



区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
1年	133	99	114	119	115	111	123
2年	113	135	99	114	119	115	111
3年	127	116	135	99	114	119	115
合計	373	350	348	332	348	345	349
前年対比		△ 6 %	△ 1 %	△ 5 %	5 %	△ 1 %	1 %
26年対比		△ 6 %	△ 7 %	△ 11 %	△ 7 %	△ 8 %	△ 6 %

※ 平成26年度は学校基本調査による数値（5月1日現在）

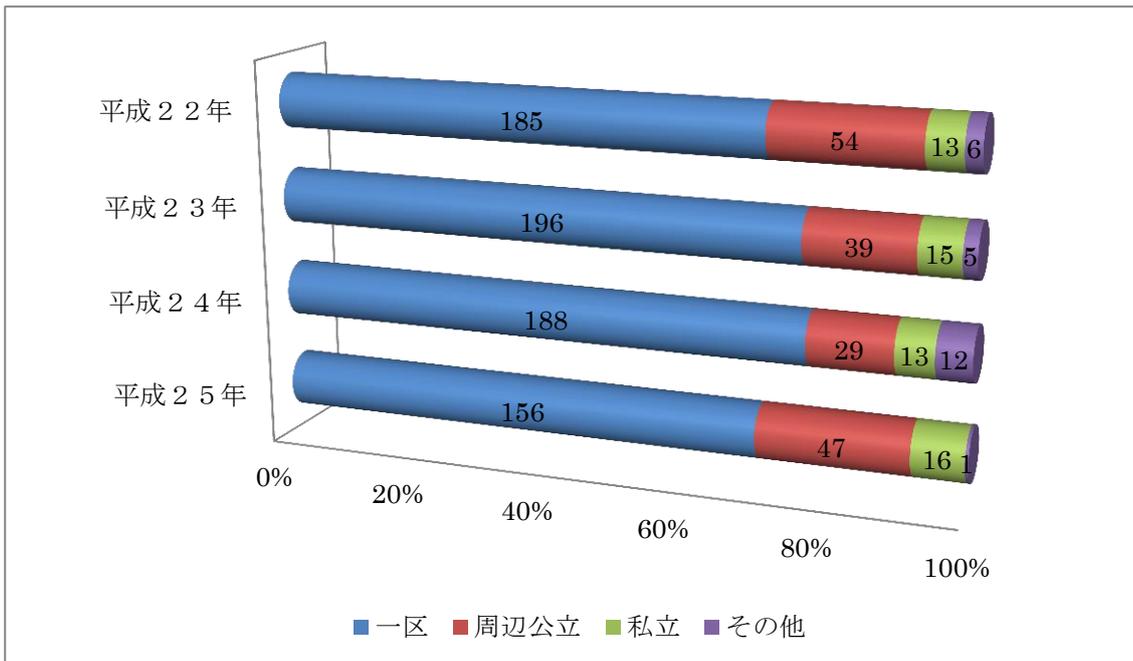
※ 平成27年度以降は平成26年5月1日現在の住民基本台帳により学齢人数を各学校ごとに集計した推計値。

市内中学生進路先（城南・城北）について

			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
一 区	飯 山 北	普 通	6 5	3 6	3 9	新飯山高校
		探 究	2 1	5 2	5 2	探求 4 8
	飯 山 高	普 通	4 2	5 0	4 3	普通 5 9
		ス ポ ー ツ	7	7	8	スポーツ 7
	下高井農林高校		5 0	5 1	4 6	4 2
周 辺 公 立 校	中野市内県立全日制		9	1 1	5	1 4
	長野市内県立全日制		2 3	1 6	1 6	2 0
	その他地区県立全日制		1	2	0	3
	県立定時制・通信制		1 0	1	2	0
	長野工業高等専門学校		7	2	3	5
	市立長野高校		4	7	3	5
	私 立	私立高校		1 1	9	8
専修学校		2	3	4	3	
私立通信制		0	3	1	2	
そ の 他	県外高校		3	2	1	0
	飯山養護学校高等部		1	1	5	1
	就職・家居		2	2	6	0
合計（卒業生数）			2 5 8	2 5 5	2 4 2	2 2 0

※平成 2 3 年度 飯山北 理数科⇒探究科 飯山 体育科⇒スポーツ科学科

※県立定時制・通信制…立志館・長野・長野西・長野工・長野商への進学者数



岳北三高校（下高井農林・飯山・飯山北）における卒業生進路状況

○平成22年度

	国公四大	私立四大	短大	専門学校	就職	その他	計
飯山北	40	64	10	25	3	18	160
飯山高	1	37	13	68	24		143
下農林			1	27	28	8	64
合計	41	101	24	120	55	26	367

○平成23年度

	国公四大	私立四大	短大	専門学校	就職	その他	計
飯山北	24	69	6	24	4	22	149
飯山高	1	30	9	49	23	1	113
下農林		6	4	26	34		70
合計	25	105	19	99	61	23	332

○平成24年度

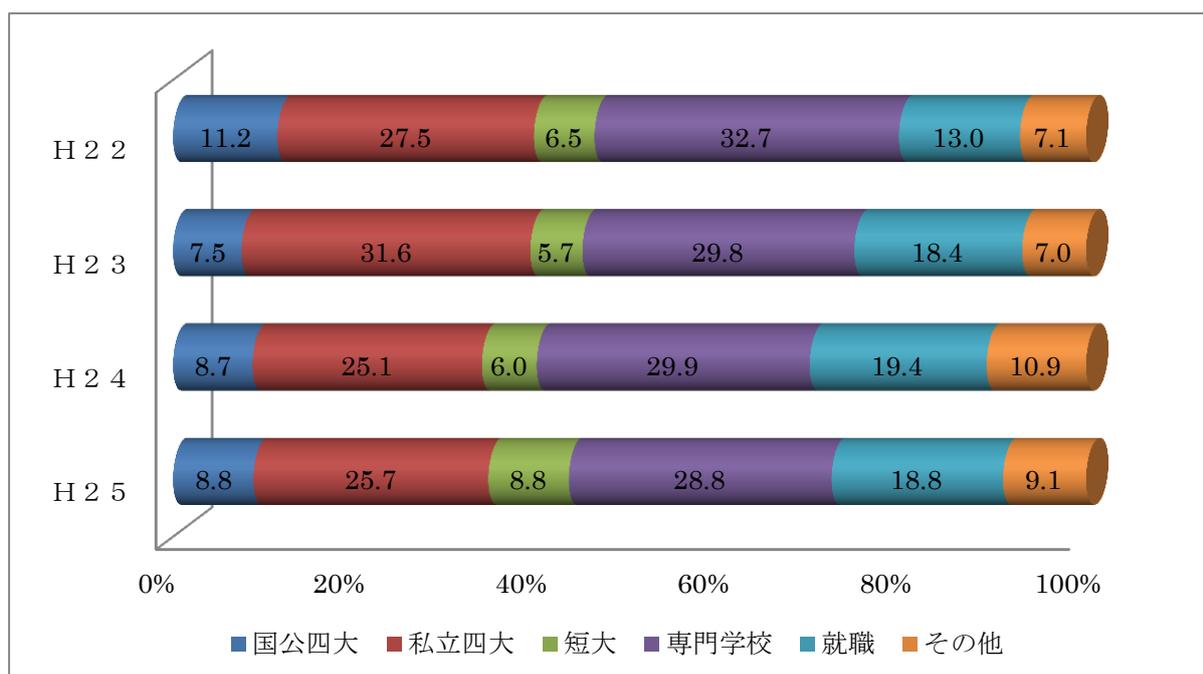
	国公四大	私立四大	短大	専門学校	就職	その他	計
飯山北	29	52	9	36	6	25	157
飯山高		28	10	41	24	5	108
下農林		4	1	23	35	7	70
合計	29	84	20	100	65	37	335

○平成25年度

	国公四大	私立四大	短大	専門学校	就職	その他	計
飯山北	28	57	20	22	2	25	154
飯山高	1	26	7	39	27	1	101
下農林		2	2	34	33	4	75
合計	29	85	29	95	62	30	330

※その他…予備校・在宅浪人・家居・自営

専門学校…専修各種学校・大学校



資料2

小規模校における状況

デメリット

- 1、 互いによく知っており、位置が固定しやすい、競争心が少ない。
- 2、 保育園～小学校と、人間関係が固定しやすく、競争心にかける。
- 3、 人数が少数なので、多様な考えが出にくい。
- 4、 リーダーシップをとれる子供が少ない。リーダーが固定化しやすい。
- 5、 集団同士の話し合いの機会が少ない。
- 6、 話し合いや、表現活動が単純になりやすい。
- 7、 チームで対戦するような体育の学習、合唱をつくりにくい。
- 8、 大勢の意見を戦わせ、大勢で作りに上げていく学習が成立しない。
- 9、 教師に依存する傾向が強くなり、自立心・社会性が育ちにくい。
- 10、 教師数が限定、効果的・弾力的な経営が難しい。
- 11、 校外学習の引率指導、危機管理が手薄になる。
- 12、 教師一人あたりの校務分掌の負担が大きい。

メリット

- 1、 家庭的な雰囲気の中で、教師と児童とが信頼関係で結ばれている。
- 2、 全校児童の名前が覚えられ、指導が徹底しやすい。
- 3、 全体で企画したり、活動することが、主体的に取り組める。
- 4、 自分のやることに、自信、責任を持っている。
- 5、 学年を越えたつながりがあり、異学年交流が自然にできる。
- 6、 つまづきへの対応が、即対応できる。
- 7、 学校行事など、地域と一体となることができる。
- 8、 教師が児童一人一人の技能を把握し、きめ細かな指導ができる。
- 9、 教師が児童の個性や課題について、共通理解を図りながら運営できる。
- 10、 地域の中心的な施設としてあることが多く、連携した活動を行いやすい。

飯山市教育懇談会（岡山小学校区）発言要旨

平成25年6月27日（木）岡山地区活性化センター

- ・平成27年度は入学者0名、平成26年度は岡山小開校40周年の節目の年。
平成27年度から、しらかば保育園・岡山小学校を戸狩保育園・戸狩小学校との統合をお願いしたい。保育園・小学校の保護者全員考えている。
地元から学校がなくなるのは寂しいことだが、子ども達の未来を考えると一日も早い統合を望む。友達をたくさん作り楽しい学校生活を送ってほしい。
- ・学習面では少人数だとマンツーマンで勉強を見てもうメリットがある。
13名の児童一致団結頑張る姿や一生懸命な姿は伝わるが、下級生が上級生をみならう姿や、高学年が低学年を引っ張る力に疑問。今は上下関係がなく、社会に出た時に影響しないか不安。
- ・もう少し早くこのような場を設けてほしかった。
少人数なので競争心は衰えている。同性同士・仲間同士の会話・相談の場がなかなか無いことが親として心配。女子1名の学年もある、早い統合をお願いしたい。
- ・昨年4月から1年かけて保護者が話し合い、出した結論を尊重したい。
地域として、学校がなくなると地域が衰退するのではないかと懸念。学校があることで学校行事に地域が参加できた。
ただ子どもが主役、子供の将来を考えて地域が協力しなければ、中学・高校・社会に出た時に保護者は心配。子どもの事を考え地域も協力したい。
- ・小さい学校にしかできない良さ、大きい学校ではできない良さがあった。
程度は昔と今は違い新たな問題が出てきているが、小さい学校に来てもらう方法はないか。小さいなりに地域にとって学校と保育園は心の拠り所である。
地域としては学校を残して欲しいが、現状は人数が少なく保護者の負担は大変だと思う。統合の話が出始めて、来年以降入園の保護者たちが不安を感じている。
- ・賛成とか反対とかではない。校長先生の説明では小規模校だからできる良さがあった。団体競技サッカー等は他校と交流して行えないか。実際どうなのか。
- ・現在野球・サッカー等の球技は行なっていない。できない。キックベースを变形したニュースポーツの一種を1年から6年まで一緒に行なっている。1・2年生ができるように、高学年はおもいっきりできないと思う。

保護者負担は、交通費負担が他校と比べて割高になる。児童会は図書美化・放送の2つの委員会。清掃は1人1教室。特別教室は週1回のみ実施。

- ・以前と状況はほとんど状況が変わっていない、卒業生1人の時があった。市川小学校との統合話が出て、岡山小学校の将来を考える時期があった。もう少し早い時期にこの懇談会を行いたかった。
- ・小規模校のマイナス面もあるが、子ども達にプラス面も多いことを加味しながら考えて欲しい。学校統合は時間の問題だと前々から思っている。この学校にいてことによってプラスになっている面がある。中学校でも岡山小の子どもが劣るとは一つも聞いていない。保護者と地域の間には溝ができないようにこの問題を考えて欲しい。
- ・地域として、卒業生として母校がなくなるのはさみしい。地元に戻り、親になり、学校のこと地域のことがより一層好きになり、考えるようになった。親が子供の事を熱く優しく一番考えている。大きな学校と統合して万事うまく行くとはいわない、不安も大きいけど子供の事を考えると、大きい学校に行くのも一つの方法。
- ・学校での子ども達の様子を見ると、小さい学校ならではの良い教育をしていると感じている。そういう良さを残した統合を望む。例えば、戸狩小と統合しても岡山の子どもたちが岡山の人達と触れ合う場があればいいと思う。
- ・統合することにより改めて、自分の住んでいるところの良さがわかると思う。地元への思いがより一層深まるものとなってほしい。
- ・これを機会にお互い歩み寄りながら前へ進んでいきたい。
6年後に飯山市の児童が880名になる。先生と子どもが本音で語れる規模が適正だと思う。将来、学校をいくつにするのか教育委員会として中・長期的な計画を示してほしい。
- ・上境・温井・羽広山はすでに戸狩小学校へ通っている。
この先統合は致し方ない。早く踏み込んで統合の話を進めたほうが良い。
年に何回かは岡山小の学校で授業をやってみるとか、ここに学校がなくても寂しくないようになってほしい。

教育委員会：この場で方針を決めるのではなく、本日はみなさんの忌憚のないご意見・気持ちを出していただいた。お互いの意見を聞いて歩み寄りながら、納得の出来る方向をこれから考えていきたい。

飯山市教育懇談会（戸狩小学校区）発言要旨

平成25年7月8日（月）戸狩小学校

- ・以前土曜日は半日登校した。現在は週休2日制になり良さもあると思う。しかし、個人的には土曜日の半日登校が復活しても詰め込み教育等の、教育問題の弊害にはならないと思う。教育委員会は長期的に土曜日の半日登校も視野に入れて欲しい。
- ・登下校方法の改善を考えていただきたい。子どもが減り集団での登下校が出来ない。地理的に1.5km以上登り坂が続く場所もあり、特に低学年は体力的にも大変である。是非スクールバス乗車の許可をお願いしたい。
- ・路線バスではなくスクールバス通学を検討して欲しい。戸狩・岡山小のスクールバスを有効活用できないか。瑞穂・上境・羽広山・温井を含めてお願いしたい。過疎地でも安心して子どもを送り出せるよう、また、中学校は部活終了時間と帰りのバスの時刻が合わない。是非スクールバスをお願いしたい。
- ・岡山小学校は戸狩小学校と統合して欲しいという話を聞いた。岡山小校区の教育懇談会の状況を教えて欲しい。

教育委員会（岡山小校区教育懇談会について）

P T Aは統合を望み、地域は学校がなくなることによる不安があるようです。地区としっかり話し合い今後のことを決めていきます。一番大事なことは子供の生き方・将来のことを考えることです。方向性はある程度見えていると思います。

教育委員会（登下校方法について）

今年の城南中学校入学式で保護者の方へ、学校へ子どもを自家用車で送らないで欲しいとお願いしました。親も迎えに行くことは簡単ですが、部活等で疲れた体でも自分の力で帰ることが本人のためになると思います。地理的に

遠く難しい場所もあるのは分かりますが、今まで歩いて登下校できる範囲は心を鬼にして歩かせた方が、絶対子どものためになると個人的に思います。

- ・中学生なら歩かせたいと思うが、小学校低学年の小さい子供は疲れて宿題も何も出来ない状況。子どもが大勢いればそれほど心配しないが、今は人数も少ないからか、地域の方々も心配してくれる。

教育委員会（スキー教室について）

アルペンスキー教育について伺います。通常年1回実施のアルペンスキー教室を、昨年は戸狩小学校で2回実施しました。今年は秋津小で2回実施する予定です。年2回アルペンスキー教室を行うことに対して率直なご意見を伺い、今後の参考にしたいと思います。

- ・戸狩小のスキー教室は保護者が指導者を兼ねている。2回目は指導者である保護者のリフト代を保護者が個人負担した。保護者負担がないように予算をしっかりと確保してから実施して欲しい。という声が多かった。
2回実施することは子どもにとっても大変良いことだと思う。
- ・都会から移住してきて、昨年戸狩小の運動会を見た。都会の千人以上の大規模校では、朝、保護者の場所取りがとても大変だった。子どもが暑い中でも木陰で涼むことが出来なかった。戸狩小は都会と違い、ゆっくり、ゆったりと丁寧に運動会を行なっていると感じた。木陰で児童が休めるなど熱中症対策がいい形で素晴らしい。種目も一つ一つ丁寧に行なっていた。
戸狩は子どもも先生も一緒に楽しみながら行なっているように見え、とても良かった。

教育委員会（コミュニティスクールについて）

最近コミュニティスクールといい、学校・保護者・地域の3者が我が学校を運営していこうというシステムがあり、県内・市内でも事例が出ています。色んな面で自分たちも学校運営に携わるようになってきている時代です。